

▶ DATA

所属事務所

たかさき法律事務所

TEL.027-325-9123

群馬県高崎市請地町11-6

FAX.027-325-4101

URL <http://www.takasaki-law.gr.jp>Email nagai@takasaki-law.gr.jp

受付時間／9時～17時30分(休／土・日・祝日)

最寄り駅／高崎駅

主な取扱い分野

契約に潜むリスクの分析・回避

経営権紛争に関する対策

事業承継と相続対策全般

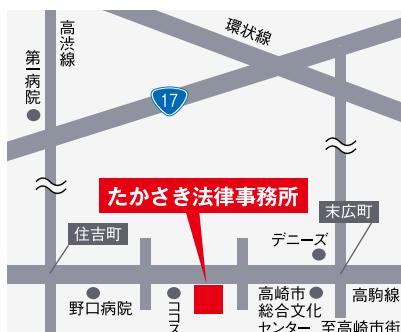
労働紛争、労務管理、労組対応

事業再生(特に金融機関対策)

その他、企業法務全般



趣のあるすっきりした外観



調和のとれた落ちついた色合いでまとめられた相談室

相談に遠慮はいらない

ていない。弁護士資格は自分が持っている資格の1つにすぎない。法律と経営に精通した頼れる「参謀」であり、経営者と共に闘う「戦友」でありたい」と心がけている。

趣味は、仏像を見て歩くこと。5年前に父親を亡くしてから仏教に興味を持つた。弁護士引退後の第2の人生は僧侶になりたいと本気で考えている。それと、犬と遊ぶこと。愛犬4匹を連れての自転車散歩は「なかなか技術がある」と笑う。どちらも仕事のストレスを解消してくれる貴重な存在だ。

らゆる法律問題のるっぽであり、興味はつきない。中でも、事業再生、労務管理、事業承継、経営権紛争の分野の事件が多い。広い人脈から、税理士や弁理士、中小企業診断士らとのネットワークも緊密で、問題に応じて適切なチームワークを組んで解決に導く。チームの中でも、解決への「グランドデザイン」を描き総指揮を執るのは法律全般に精通しバランス感覚のある弁護士が行うべき、といふ。

「こんな小さなことを相談してもいいのか」などと考えてはいけない。これは法律と関係ない



たかさき法律事務所

弁護士

長井 友之

プロフィール

昭和31年高崎市生まれ。中央大学法学部卒。関心事は、群馬最強の弁護士集団を組織すること。

経営者の不安を解消する “参謀”として、企業を護る

経営者の “戦友”でありたい

県内最大級の総合法律事務所を経営する。所属弁護士は7名、近々9名に増える予定だ。群馬で法律事務所の現代的な「共同化」に踏み切ったパオニアである。

「複雑化する企業法務に対応するために、各種分野のプロをそろえ組織化することを目指してきた。企業の抱える問題は多様化し、総合的な解決能力が必要」と話す。

顧客の8割は中小企業である。「訴訟になると金銭、時間、労力、あらゆる面で莫大なコストを費やす。ここ数年は如何に訴訟案件を少なくするか、予防法務といふことに心を砕いている。肺炎になる前に“鼻カゼ”程度で止めておくため、智慧を貸したい、というのがモットーである」と話す。

数10社にのぼる企業から顧問を依頼され、地元企業に貢献している。長井氏自身が経営者でもあるため、企業経営者の気持ちには深く共感できる。「自分が“弁護士”だということはあまり重視し

のでは?」と素人判断を行うのは、最も良くない。法律問題かどうかを判断すること自体、法律知識が必要なのだ。悩んだら、迷わず、プロに相談を」と呼びかける。

40代までは裁判の腕を磨くことに熱中し、「不敗神話」に自惚れていた時期もあったが、最近は広い視野で解決するようになつた。大切なのは勝敗予測の正確性だという。勝つ見込みが低い事件は無益な訴訟に持ち込まない。その見極めこそが、弁護士の力量だと言い切る。依頼者の訴訟リスクを如何に軽減・解消するかが、自分の使命だと肝に銘じている。